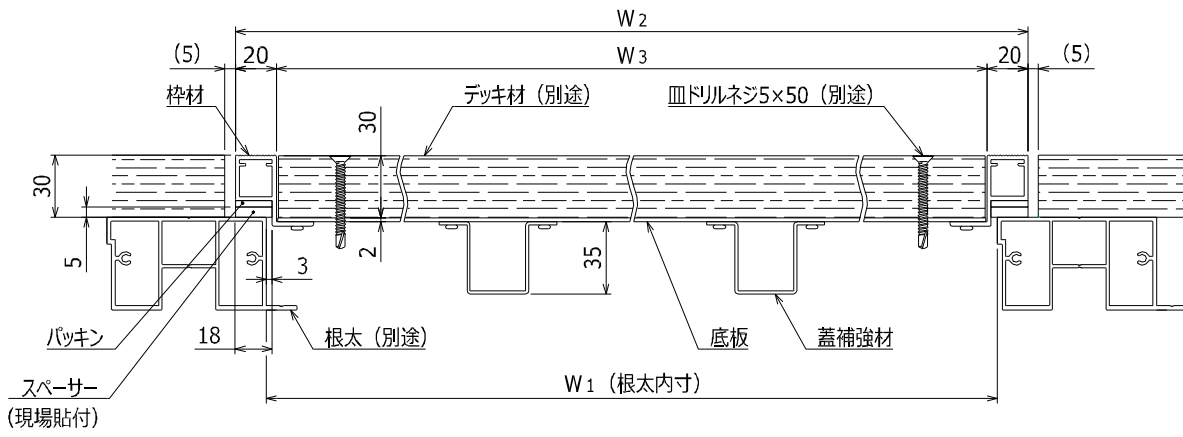


### 1. 納まり (点検口は根太に直接載せる納まりです)



#### ■規格寸法表

型式	規格寸法 (mm)		
	W <sub>1</sub>	W <sub>2</sub>	W <sub>3</sub>
KFDIK30NTS	265	295	255
KFDIK45NTS	415	445	405
KFDIK60NTS	565	595	555

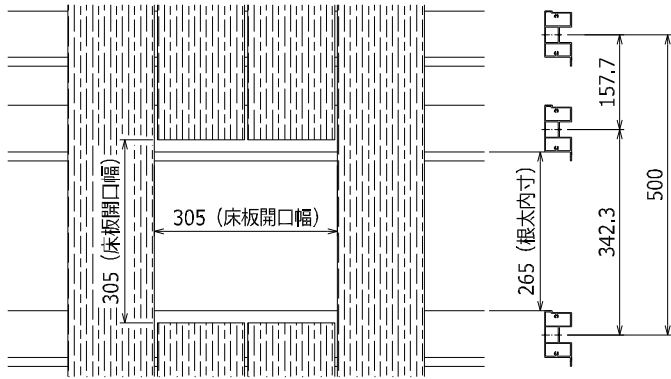
#### ■付属部品明細表

付属部品名	数量
スパース (5mm)	4
錠受け	2
錠受け取付用ネジ	4
鍵	2

### 2. 根太の施工

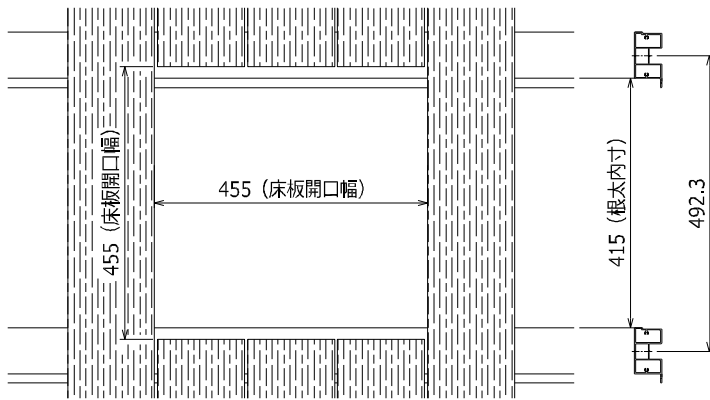
#### ●300角の場合

- 根太ピッチ 342.3 mmの位置に根太を追加してください。
- 点検口用開口幅 (根太: 265 mm / 床板: 305×305 mm)



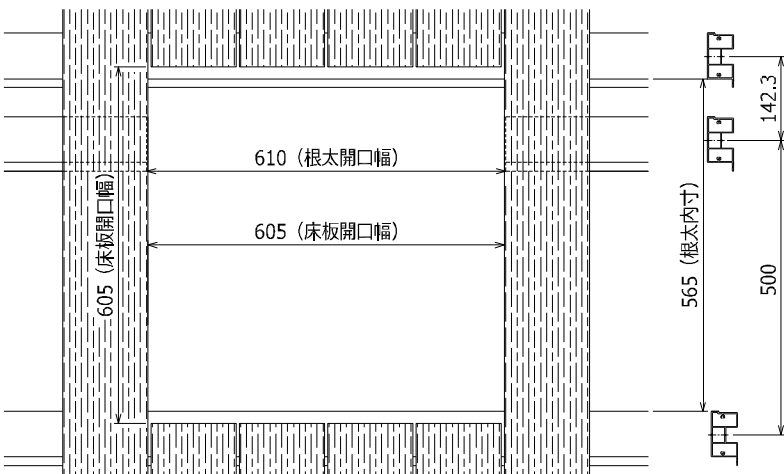
#### ●450角の場合

- 点検口を取り付ける場所の根太ピッチを 492.3 mmに変更してください。
- 点検口用開口幅 (根太: 415 mm / 床板: 455×455 mm)

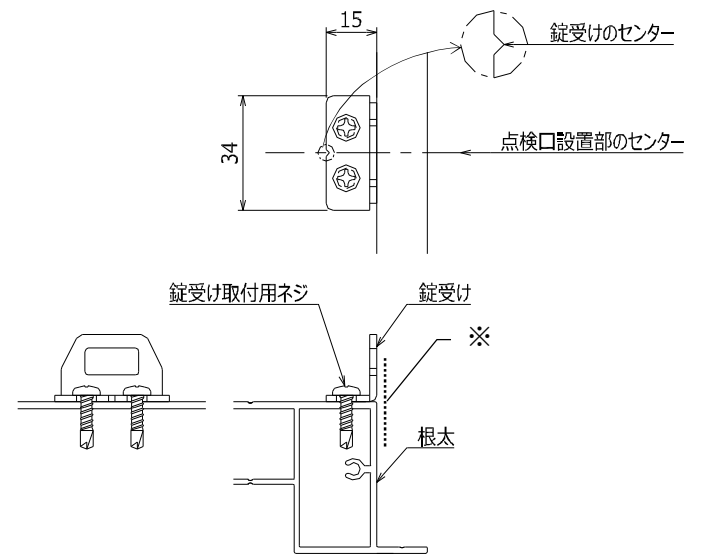


#### ●600角の場合

- 根太ピッチ 142.3 mmの位置に根太を追加してください。
- 点検口用開口幅 (根太: 565 mm / 床板: 605×605 mm)
- 根太開口幅 (610 mm)



### 3. 錠受けの取付

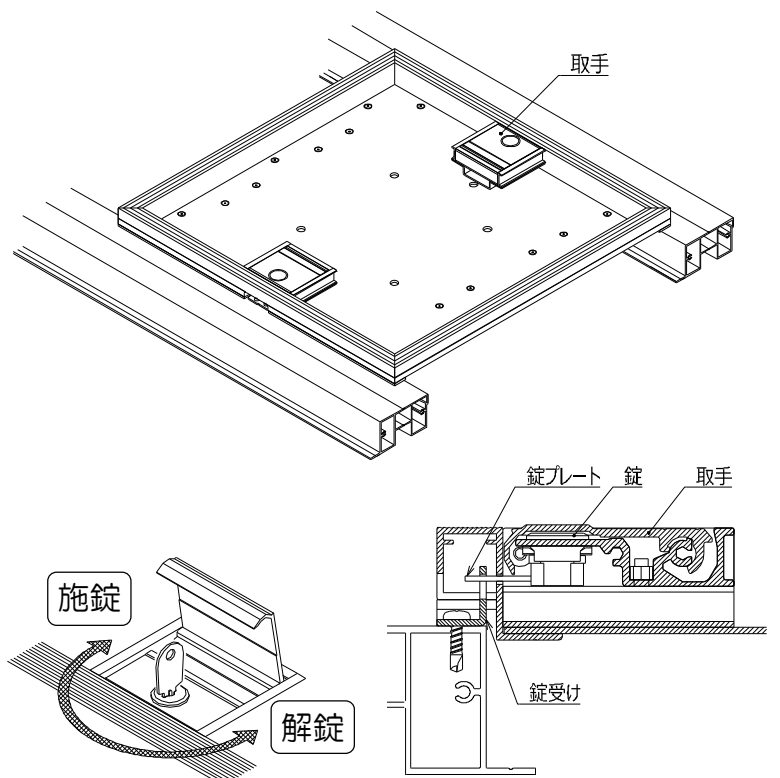


- 点検口設置部の根太センター対辺 2ヶ所に錠受けを取り付けてください。

△ 錠受けは上図 (※) のように根太と面が合うように取り付けてください。

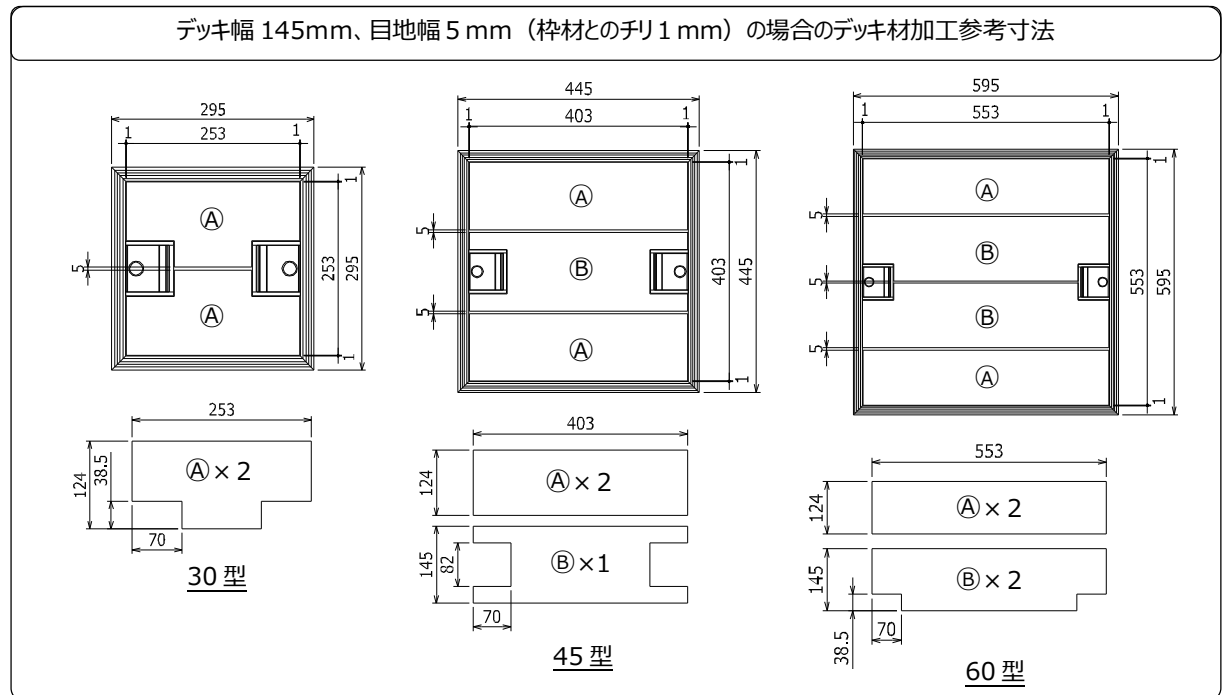
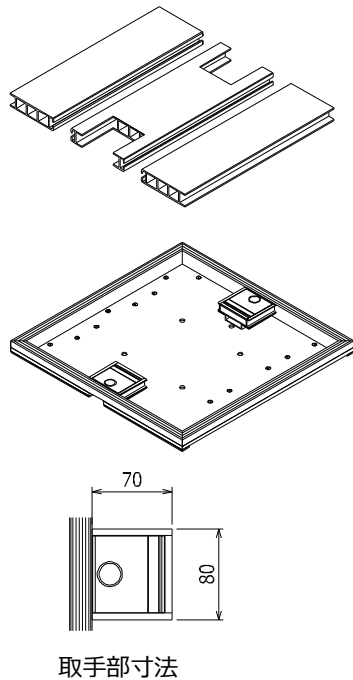
△ 錠受け取り付け後、点検口を仮設置し取手に内蔵されている錠に鍵を差し込み施錠してください。

確実に錠プレートが錠受けにかかるか (施錠できるか) 確認してください。  
(下図参照)

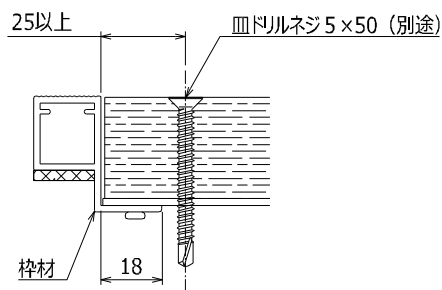


#### 4. 点検口へのデッキ材の加工

・デッキ材のサイズに合わせて、点検口枠内幅（ $W_3$ ）を参考にし、デッキ材を切断してください。  
また取手部寸法を参考にし、取手部の切り欠き加工を行ってください。



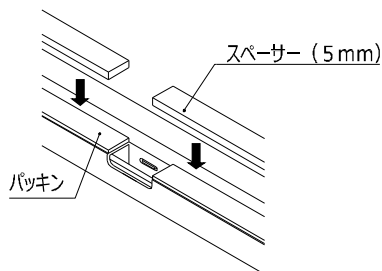
#### 5. デッキ材の固定 ※床板1枚当たり4点ビス固定（皿ドリルネジ5×50：別途）



・点検口にデッキ材をネジ止め（別途）してください。  
その際、左図のように枠材内側より **25mm以上** 離して固定してください。

⚠ 先端が鋭利なネジを使用する場合は、デッキ材固定後に先端部を削り落とす等の処理、もしくはネジキャップを取り付ける等の保護をしないと蓋の開閉時に怪我をする恐れがあります。

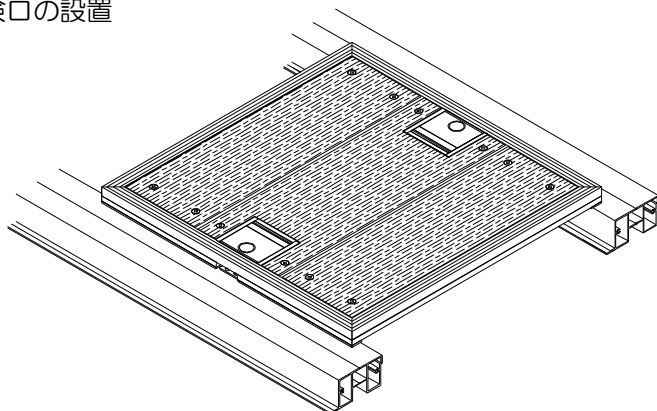
#### 6. 枠材スペーサーの貼付



・点検口を裏返し、左図のようにパッキンが貼っている上から枠材スペーサー（5mmゴム・4本）を貼り付けてください。

⚠ 貼付前に、貼付面の汚れ等を十分に除去し、確実に貼り付けてください。

#### 7. 点検口の設置



・根太に点検口を設置し、取手に内蔵されている錠を施錠して完了です。  
⚠ 錠プレートが錠受けに確実にかかっているか、ご確認ください。

### ⚠ 使用上の注意

- 指はさみ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。